

平成 30 年度

越 前 市 当 初 予 算

事 業 概 要 書

平成30年度当初予算 事業概要書

No.	所属	事業名称	予算書
1	建築住宅課	まちなか住宅支援事業／住宅支援事業	P170/ P172
2	情報統計課	地域経済応援ポイント事業	P86
3	まちづくり・総合交通課	複合施設（今立総合支所）建設関連事業	P90
4	まちづくり・総合交通課	北陸新幹線南越駅周辺整備事業	P168
5	政策推進課	（仮称）市民センター整備事業	P82
6	国体推進課	国体実行委員会運営事業	P90
7	子ども福祉課	子どもの未来応援事業	P118
8	子ども福祉課	子育て一時支援事業（ひとり親家庭等病児デイケアの利用料助成）/放課後児童クラブ事業（ひとり親家庭等利用料助成）/ひとり親家庭等自立支援事業（高校生の通学定期代助成）	P118/ P122/ P120
9	教育振興課	教育情報化推進事業（学校ICT再構築事業）	P178
10	教育振興課	小学校教育振興事業／中学校教育振興事業（学校支援員・部活支援員の配置）	P180/ P182
11	教育振興課	小学校施設営繕事業（小学校空調設置工事に要する経費）	P180
12	教育振興課	小学校施設営繕事業（味真野小学校屋内運動場等改修工事）	P180
13	教育振興課	小学校施設営繕事業（大虫小学校グラウンド・トラック整備工事）	P180
14	産業政策課	工芸の里構想推進事業（ナイフビレッジ共同工房観光拠点化）	P152/ P154
15	産業政策課	工芸の里構想推進事業（越前指物組合事務所改修補助金等）	P152
16	産業政策課	工芸の里構想推進事業（越前装飾料紙シンポジウム補助金）	P152
17	産業政策課	越前ネクストクラフト事業（クラフトフェス開催負担金）	P152
18	産業政策課	紙の文化博物館展示事業	P154
19	商業・観光振興課	観光推進事業（いわさきちひろ生誕100周年記念事業）	P158
20	文化課	公会堂記念館展示整備事業（いわさきちひろ生誕100周年記念特別展）	P198
21	防災安全課	防災行政無線管理事業（防災行政無線のデジタル化）	P102

※ 事業概要書は、新規の予算事業及び既存予算事業の中で、新たな制度の創設や新たな事業展開などによる新規経費を対象とし、事業費が100万円以上のものを適宜掲載しています。

平成30年度 事業概要書		定住化促進に向けた支援制度																													
		事業名	まちなか住宅支援事業／住宅支援事業	担当課	建築住宅課																										
会計	一般会計	費目	土木費	予算書	P170/172																										
まちづくりの5本の柱		3. 快適で住みよいまちづくり																													
1. 事業の目的・効果																															
<p>将来的な人口減少・少子高齢時代を迎える中、効率的・効果的な行政運営やまちづくりを進めるため、市総合戦略、第3期市中心市街地活性化基本計画及び市立地適正化基本計画に基づき、市内への転入、まちなか居住の推進や転出防止策として、住宅の取得支援や空き家などの既存ストック活用支援等の各種住宅施策等の推進を図り、定住を促進する。</p>																															
2. 事業の概要																															
<p>【まちなか居住の推進：中心市街地内】</p> <p>① まちなか住宅取得推進事業 …住宅を取得する場合に取得費の一部を補助</p> <p>② まちなか共同住宅整備推進事業 …共同住宅を建設する場合に共用部分の建設費の一部を補助</p> <p>③ 子育て世帯定住化支援事業 …賃貸住宅に18歳未満の子と同居する世帯が居住する場合に家賃の一部を補助</p> <p>【居住の推進】</p> <p>④ 子育て世帯と移住者への住まい支援事業…住まい情報バンクに登録された中古の一軒家を子育て世帯又は移住者が取得する場合や改修して居住する場合に取得費及び改修費の一部を補助</p> <p>⑤ 住宅取得支援事業 …居住誘導区域内で40歳未満の方又は子育て世帯（18歳未満の子と同居）の方が住宅を取得する場合に取得費の一部を補助</p> <p>⑥ 従業員用共同住宅建設等支援事業 …用途地域等の定められた区域内で4戸以上の従業員用共同住宅を建設する場合やリノベーションする場合の費用の一部を補助</p> <p>⑦ 住宅用地等購入資金利子補給金 …居住誘導区域内で公有地を購入し住宅等を建築した場合に借入金の利子の一部を補助</p> <p>⑧ 空き家等リフォーム支援事業 …売買・賃貸を目的に空き家を改修する場合に改修費の一部を補助</p> <p>⑨ 住宅団地整備事業 …中心市街地内又は居住誘導区域内の区画整理済地で住宅団地を整備する場合に整備費の一部を補助</p> <p>⑩ 多世帯同居・近居住まい推進事業 …直系親族の世帯が一つ以上増加するために住宅を改修する場合や直系親族の近くに住宅を取得する場合に改修費又は取得費の一部を補助</p> <p>⑪ 空き家住宅診断支援事業 …住宅診断後住まい情報バンクに登録する場合に診断費の一部を補助</p> <p>⑫ 防火対策支援事業 …防火・準防火地域の居住住宅の外壁等を防火改修する場合に改修費の一部を補助</p>																															
3. 経費																															
<p>【まちなか居住の推進（まちなか住宅支援事業）】</p> <table border="0"> <tr> <td>利子補給金</td> <td>725千円</td> </tr> <tr> <td>① まちなか住宅取得推進事業補助金</td> <td>10,400千円</td> </tr> <tr> <td>② まちなか共同住宅整備推進事業補助金</td> <td>10,000千円</td> </tr> <tr> <td>③ 子育て世帯定住化支援事業補助金</td> <td>2,400千円</td> </tr> </table> <p>【居住の推進（住宅支援事業）】</p> <table border="0"> <tr> <td>④ 子育て世帯と移住者への住まい支援事業補助金</td> <td>2,000千円</td> </tr> <tr> <td>⑤ 住宅取得支援事業補助金</td> <td>40,000千円</td> </tr> <tr> <td>⑥ 従業員用共同住宅建設等支援事業補助金</td> <td>7,500千円</td> </tr> <tr> <td>⑦ 住宅用地等購入資金利子補給金</td> <td>2,500千円</td> </tr> <tr> <td>⑧ 空き家等リフォーム支援事業補助金</td> <td>4,500千円</td> </tr> <tr> <td>⑨ 住宅団地整備事業補助金</td> <td>5,000千円</td> </tr> <tr> <td>⑩ 多世帯同居・近居住まい推進事業補助金</td> <td>9,400千円</td> </tr> <tr> <td>⑪ 空き家住宅診断支援事業補助金</td> <td>105千円</td> </tr> <tr> <td>⑫ 防火対策支援事業補助金</td> <td>5,000千円</td> </tr> </table>						利子補給金	725千円	① まちなか住宅取得推進事業補助金	10,400千円	② まちなか共同住宅整備推進事業補助金	10,000千円	③ 子育て世帯定住化支援事業補助金	2,400千円	④ 子育て世帯と移住者への住まい支援事業補助金	2,000千円	⑤ 住宅取得支援事業補助金	40,000千円	⑥ 従業員用共同住宅建設等支援事業補助金	7,500千円	⑦ 住宅用地等購入資金利子補給金	2,500千円	⑧ 空き家等リフォーム支援事業補助金	4,500千円	⑨ 住宅団地整備事業補助金	5,000千円	⑩ 多世帯同居・近居住まい推進事業補助金	9,400千円	⑪ 空き家住宅診断支援事業補助金	105千円	⑫ 防火対策支援事業補助金	5,000千円
利子補給金	725千円																														
① まちなか住宅取得推進事業補助金	10,400千円																														
② まちなか共同住宅整備推進事業補助金	10,000千円																														
③ 子育て世帯定住化支援事業補助金	2,400千円																														
④ 子育て世帯と移住者への住まい支援事業補助金	2,000千円																														
⑤ 住宅取得支援事業補助金	40,000千円																														
⑥ 従業員用共同住宅建設等支援事業補助金	7,500千円																														
⑦ 住宅用地等購入資金利子補給金	2,500千円																														
⑧ 空き家等リフォーム支援事業補助金	4,500千円																														
⑨ 住宅団地整備事業補助金	5,000千円																														
⑩ 多世帯同居・近居住まい推進事業補助金	9,400千円																														
⑪ 空き家住宅診断支援事業補助金	105千円																														
⑫ 防火対策支援事業補助金	5,000千円																														
国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】	① 国 50%（若年代加算のみ） ②③⑫ 国 50% ④⑩⑪ 国 45% 県 27.5%	その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】																													
	金額 (千円)	財源内訳 (千円)																													
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源																										
予算額	99,530	14,077	3,162		82,291																										
写真・イラスト等	<p style="text-align: center;">まちなか</p>  <p style="text-align: center;">居住誘導区域</p> <p style="text-align: center;">郊外</p> <p style="text-align: center;">住みたい！を応援します 定住化に向けた支援制度</p>																														

平成30年度 事業概要書		ネットで、湯楽里で、ちひろで使える越前市ポイント！			
		事業名	地域経済応援ポイント事業	担当課	情報統計課
会計	一般会計	費目	総務費	予算書	P86
まちづくりの5本の柱		5. 市民が主役のまちづくり			

1. 事業の目的・効果

マイナンバーカードの利活用策の一つである地域経済応援ポイント事業（総務省）を活用し、民間会社のポイントから変換した越前市ポイントを通販サイト「めいぶつチョイス」や市内施設で利用できるようにすることで、マイナンバーカードの普及促進や地域経済の活性化に繋げる。
 (参考) 平成29年12月31日現在マイナンバーカードの申請率、交付率
 申請率 7,805件/82,947人=9.41%
 交付率 5,983件/82,947人=7.21%

2. 事業の概要

【越前市ポイント貯める】
 クレジットカード会社、航空会社、携帯電話会社等のポイントを越前市ポイントに変換

【越前市ポイントを使う】
 ① めいぶつチョイス（通販サイトでの買い物）
 ② しきぶ温泉湯楽里（入浴料）
 ③ 武生公会堂記念館（特別展での入館料）
 ④ ちひろの生まれた家記念館（入館料）

3. 経費

地域経済応援ポイント報償費 15千円（3施設）
 消耗品費 1,000千円（めいぶつチョイス 10千円×100件）

国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】	その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】				地域経済応援ポイント収入 1,015千円
金額 (千円)	財源内訳 (千円)				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予算額	1,015			1,015	

越前市ポイントをつめる
～それぞれのポイントを合算する～

ポイント・マイルージを越前市ポイントに変換

- マイナンバーカードを取得する。
- マイキーIDを登録する。
- 地域経済応援ポイントを越前市ポイントに変換する。



協力企業のポイントから変換

越前市ポイントをつかう
～合算したポイントを使う～

めいぶつチョイス(通販サイト)でお買い物

ふるさと納税返礼品で人気の物産等
 越前がに、若狭牛、海産物、越前打刃物、
 越前和紙ほか約250種類（6月開始予定）



市内のお店や市施設で使う

しきぶ温泉湯楽里、武生公会堂記念館、
 ちひろの生まれた家記念館（5月開始予定）
 今後市内のお店へ利用拡大予定(平成31年度以降)

写真・イラスト等

平成30年度 事業概要書

複合施設における防災・コミュニティ等の拠点機能を整備します

事業名	複合施設（今立総合支所）建設関連事業	担当課	まちづくり・総合交通課
会計	一般会計	費目	総務費
		予算書	P90

まちづくりの5本の柱

3. 快適で住みよいまちづくり

1. 事業の目的・効果

平成30年9月の複合施設（今立総合支所）の供用開始までに、複合施設の執務室や市民利用部分の環境整備を実施し、市東部地域の防災・コミュニティの拠点を構築する。これにより、災害に迅速かつ的確に対応できる体制を確立し、人が集い結びつきを持つことで賑わいを創り出す。

2. 事業の概要

平成30年8月に複合施設（今立総合支所）建設工事が完了するため、9月の供用開始に向けた環境整備を行う。

<スケジュール>

H30. 5月	複合施設（今立総合支所）什器備品契約（～H30. 9）
H30. 6月	今立総合支所引越し業務委託契約（～H30. 9） さよなら総合支所展開催（～8/31） ゴミ収集庫、備品倉庫設置工事契約（～H30. 9）
H30. 8月	複合施設（今立総合支所）完成
H30. 9月	今立総合支所引越し
H30. 9月24日（予定）	複合施設完成式典、愛称採用者表彰、内覧会
H30. 9月25日	複合施設供用開始

3. 経費

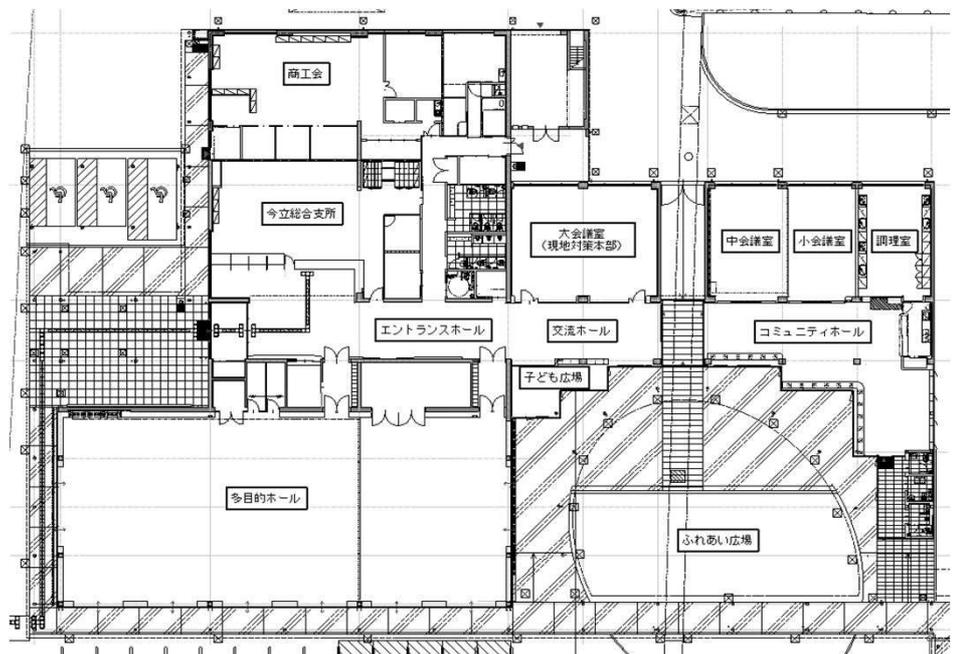
【主なもの】

需用費	1,000千円（複合施設消耗品（調理器具等））
委託料	2,378千円のうち 1,878千円（完成式典業務委託878千円、今立総合支所引越し業務委託1,000千円）
工事費	9,300千円のうち 1,300千円（ゴミ収集庫・備品倉庫設置工事）
庁用備品費	17,600千円のうち16,000千円（複合施設整備に関する備品）

国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】	その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】			
-------------------------------	-----------------------------	--	--	--

	金額 (千円)	財 源 内 訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予 算 額	20,428					20,428

写真・イラスト等



平成30年度 事業概要書

基本計画に基づき南越駅（仮称）周辺の詳細設計などを行います

事業名	北陸新幹線南越駅周辺整備事業	担当課	まちづくり・総合交通課
会計	一般会計	費目	土木費
予算書			P168
まちづくりの5本の柱	3. 快適で住みよいまちづくり		

1. 事業の目的・効果

平成27年12月に策定した「北陸新幹線南越駅周辺整備基本計画」に基づき、平成35年3月開業予定の北陸新幹線の南越駅（仮称）の周辺（駅前広場・P&R駐車場・周回道路・道の駅（観光交流センター）・東口広場・多目的広場）及びアクセス道路の整備を行う。

2. 事業の概要

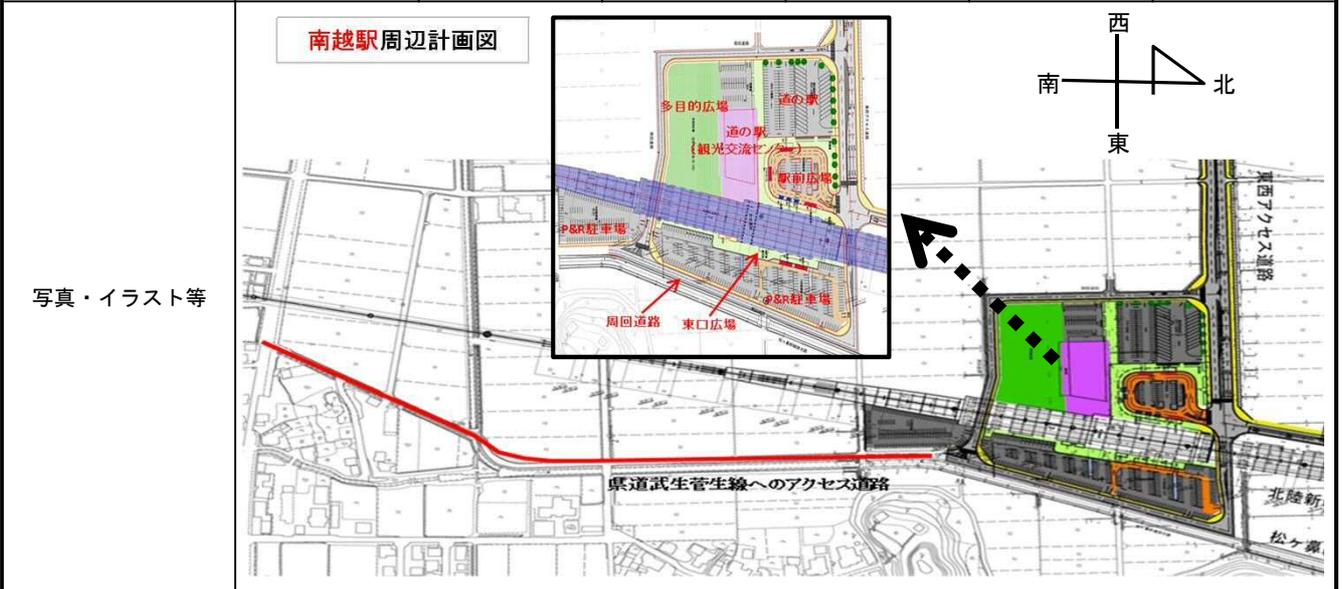
- H30.4～：詳細設計
P&R駐車場・周回道路・観光交流センター（建物除く）・多目的広場・東口広場の詳細設計を行う。
- H30.4～：路線測量及び予備設計
県道菅生武生線へのアクセス道路の路線測量・予備設計を行う。
- H30.6～：造成工事
観光交流センター・多目的広場の造成工事を行う。
- H31.1～：基本設計・実施設計
観光交流センター（建物）の基本設計・実施設計を行う。

3. 経費

- ①P&R駐車場・周回道路詳細設計業務委託 【事業費】 22,000千円
- ②照明等設計業務委託 【事業費】 8,000千円
- ③観光交流センター基本設計・実施設計業務委託 【事業費】 25,970千円
- ④観光交流センター地質調査業務委託 【事業費】 3,090千円
- ⑤多目的広場詳細設計業務委託 【事業費】 8,740千円
- ⑥東口広場詳細設計業務委託 【事業費】 9,860千円
- ⑦観光交流センター造成工事 【事業費】 6,490千円
- ⑧多目的広場造成工事 【事業費】 13,340千円
- ⑨予備設計及び路線測量業務委託（県道菅生武生線へのアクセス道路）【事業費】 9,000千円

国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】	<ul style="list-style-type: none"> ・社会資本整備総合交付金（道路事業）補助率：55% ・社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）補助率：40% ・北陸新幹線三駅周辺整備促進事業補助金補助率：市負担額の1/2以内（上限3億円） 	その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】	<ul style="list-style-type: none"> ・公共事業等債 充当率：90% ・社会基盤整備基金
-------------------------------	--	-----------------------------	--

金額 (千円)	財源内訳 (千円)				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予算額	106,490	43,496	19,089	29,600	14,305



平成30年度 事業概要書

教育・子育て・市民活動・就労を支援する施設整備

事業名	(仮称)市民センター整備事業	担当課	政策推進課
会計	一般会計	費目	総務費
		予算書	P82

まちづくりの5本の柱 5. 市民が主役のまちづくり

1. 事業の目的・効果

武生中央公園だるまちゃん広場を屋外での市民の憩いの場、今回新たに整備する(仮称)市民センターを屋内での市民の憩いの場と位置づけ、市民交流の促進や中心市街地のにぎわい創出を図る。
 具体的には、アルプラザ武生の3階を新たに市が借り受け3階と4階を平成31年末までに再整備し、3階に子育て支援施設として屋内子ども広場を整備するなど、親子をはじめとした多世代の市民が憩い、交流を図る施設とする。併せて、市民団体の活動拠点をアルプラザ3階に集約して活動の活性化を図る。なお屋内子ども広場については、本市出身の絵本作家かこさとし氏に監修をお願いし、子どもの創造性を高める施設にしていく。

2. 事業の概要

平成29年度に策定する基本構想を基に、平成30年度は上記設備を整備するための基本・実施設計を行う。その後、平成31年度当初の工事施行、平成31年11月頃オープン予定

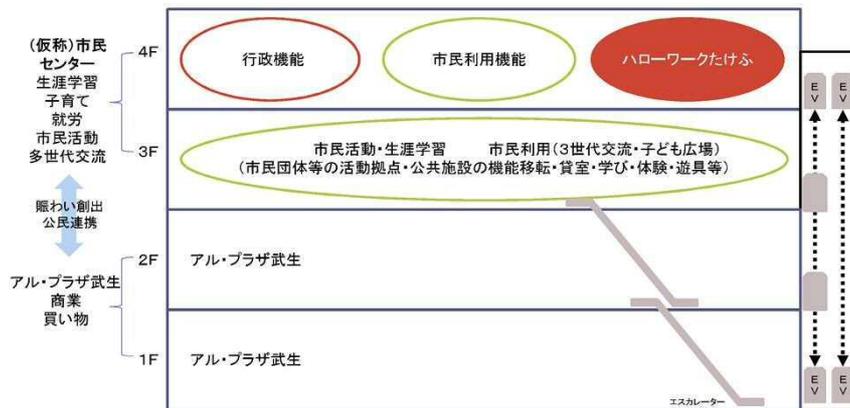
3. 経費

【(仮称)市民センター整備実施設計等業務】
 12,000千円
 ※ S造 3階床面積 4688.89㎡ (遊具の設計含む)

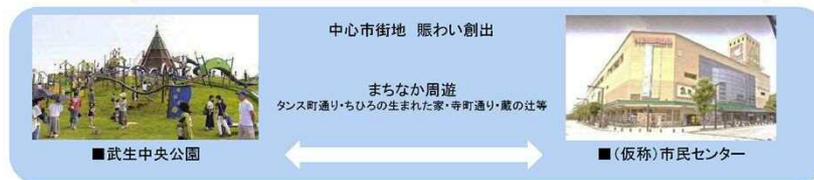
【旅費】
 278千円
 ※ かこさとし研究所(東京)への旅費 5回分

国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】	その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】				
金額 (千円)	財源内訳 (千円)				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予算額	12,278				12,278

立面図



写真・イラスト等



平成30年度 事業概要書

福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会 ～織りなそう カと技と美しさ～

事業名	国体実行委員会運営事業	担当課	国体推進課
会 計	一般会計	費 目	総務費
予 算 書			P90
まちづくりの5本の柱	2. 元気なづくり		

1. 事業の目的・効果

平成30年福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会における本市開催競技会の円滑な運営を期するために必要な準備を行うことを目的として当該実行委員会に負担金を交付する。
本市においては、国体の正式競技4競技及びデモンストレーションスポーツ2競技並びに全国障害者スポーツ大会正式競技1競技を開催する。昨年同様、引き続き広報啓発事業により市民の機運醸成を図る中で、おもてなし、観戦、ボランティア等の市民参加による国体の実施を促進するなど、市民の元気とカとを結集するとともに、県、競技団体、関係機関及び関係団体と緊密に連携を図り、一体となつての成功を目指す。

2. 事業の概要

行政、競技団体及び市内各種団体で構成され、平成30年福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会において本市で開催される競技会の適正かつ円滑な実施運営の準備を行う「越前市実行委員会」の運営経費とする。

【国体正式競技】

- ・ソフトテニス（全種別）・・・・・・10月5日（金）～10月8日（月） 【武生中央公園庭球場】
- ・軟式野球（成年男子）・・・・・・10月5日（金）・10月6日（土） 【丹南総合公園野球場】
- ・フェンシング（全種別）・・・・・・9月30日（日）～10月3日（水） 【武生中央公園総合体育館】
- ・ソフトボール（成年男子）・・・・・・9月30日（日）～10月2日（火） 【武生東運動公園ソフトボール場】

【デモンストレーションスポーツ】

- ・シルバーソフトバレーボール・・・・9月9日（日） 【武生中央公園総合体育館】
- ・武術太極拳・・・・・・・・・・・・・・9月2日（日） 【南越中学校体育館】

【全国障害者スポーツ大会正式競技】

- ・ソフトボール（知的）・・・・・・10月13日（土）～10月15日（月） 【武生東運動公園ソフトボール場】

3. 経費

■負担金

国体実行委員会運営負担金 300,000千円

【内容】会議費（総会、常任委員会等開催）、事務局費、調査費（組合せ抽選会補助業務等に係る出張など）、広報啓発費（広報活動、広報物品、観戦ガイドブックなど）、市民運動推進費（炬火イベント、おもてなし、花いっぱい運動など）、競技運営共通費（弁当関係、輸送・交通関係、仮設整備など）、ソフトテニス競技運営費、軟式野球競技運営費、フェンシング競技運営費、ソフトボール競技運営費、シルバーソフトバレーボール競技運営費、武術太極拳競技運営費、行幸啓費

国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】	福井県福井しあわせ元気国体会場地町運営交付金 86,049千円 ※交付率 交付対象経費の2/3以内等	その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】	まちづくり基金 37,191千円			
	財 源 内 訳 (千円)					
	金額 (千円)	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予 算 額	300,000		86,049		37,191	176,760

写真・イラスト等



平成30年度 事業概要書		すべての子どもに明るい未来を 未来につなげる体制づくり					
		事業名	子どもの未来応援事業	担当課	子ども福祉課		
会計	一般会計	費目	民生費	予算書	P118		
まちづくりの5本の柱		2. 元気な人づくり					
1. 事業の目的・効果							
<p>家庭や子どもの実態、支援に活用できる地域の資源量等を把握し、実施計画を策定する。 子ども達の生活圏域に居場所を提供し、生活や家庭学習支援等を行い、地域と子ども達のつながりの中で自立する力を育む。 あわせて、地域の中で子どもを見守り・支援する意識を醸成するとともに人的・社会資源の更なる充実を図る。</p>							
2. 事業の概要							
<p>1. 子どもの未来応援計画策定 アンケート調査等にて、子どもや家庭の実態を把握し、実施計画を策定する。 2. 子どもの居場所づくり 【委託先】 (仮称) 越前市地域公益活動推進協議会：市内社会福祉法人で設立予定 (事務局：越前市社会福祉協議会) 【委託業務内容】 ・地域ネットワークの構築、人材発掘 ・ボランティアバンクシステムの構築、ボランティアの調整 ・各地域での居場所づくりの準備、立上げ、事業運営支援 【居場所の概要】 ①対象者：おおむね小・中学生 ②場 所：対象者の生活圏域にある社会福祉法人施設や地域の集会所等 ③支援者(指導者)：教員OB、学生、地域ボランティア等</p>							
3. 経費							
<ul style="list-style-type: none"> 子どもの生活に関する実態調査(アンケート調査委託料等) 2,201千円 子どもの居場所づくり委託料 3,207千円 <p style="text-align: right;">事業費合計 5,408千円</p>							
国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】		地域子どもの未来応援交付金(国) 子どもの生活に関する実態調査(補助率3/4) 1,650千円 コーディネーター等体制整備(補助率1/2) 1,603千円		その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】			
		財 源 内 訳 (千円)					
		金額 (千円)	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予 算 額		5,408	3,253				2,155
写真・イラスト等							

平成30年度 事業概要書		みんな安心して子育てを！			
		事業名	子育て一時支援事業 (ひとり親家庭等病児デイケアの利用料助成) 放課後児童クラブ事業(ひとり親家庭等利用料助成) ひとり親家庭等自立支援事業(高校生の通学定期代助成)	担当課	子ども福祉課
会 計	一般会計	費 目	民生費	予 算 書	P118/P122/P120
まちづくりの5本の柱		2. 元気なづくり			
1. 事業の目的・効果					
収入が低く子育ての負担も大きいひとり親家庭等に対し、子どもが家庭環境に左右されることなく健やかに成長していけるよう、子育てにかかる費用等を助成することにより、安心して生活と子育てができる環境づくりを支援する。					
2. 事業の概要					
	①病児デイケアの利用料助成	②放課後児童クラブの利用料助成	③高校生の通学定期代助成		
対象者	ひとり親世帯(ひとり親家庭等医療費助成受給世帯または児童扶養手当受給世帯) および住民税非課税世帯				
補助額	1人あたり2,000円/日(上限)	1人あたり2,500円/月(上限)	1人あたり10,000円/月(上限) 自己負担1/2あり		
3. 経費					
①ひとり親家庭等病児デイケアの利用料助成 80千円 ②ひとり親家庭等放課後児童クラブの利用料助成 3,000千円 ③ひとり親家庭等高校生の通学定期代助成 4,890千円 計 7,970千円					
国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】	ひとり親家庭等の子育て安心プラン事業県補助金 (補助率1/2) 3,985千円		その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】		
	金 額 (千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
予 算 額	7,970		3,985		3,985
写真・イラスト等					

平成30年度 事業概要書		主体的・対話的で深い学びを生み出す 学校ICT再構築事業				
		事業名	教育情報化推進事業		担当課	教育振興課
会計	一般会計	費目	教育費		予算書	P178
まちづくりの5本の柱		2. 元気な人づくり				
1. 事業の目的・効果						
<p>新学習指導要領の公示を受け、授業の双方向性を高めるために、学校ICTを再構築する。児童・生徒用タブレットPCの導入やデジタル教科書のさらなる利活用環境をつくることで、分かりやすく深まる授業の推進を図るとともに、子どもたちの情報活用能力の育成等を促進する。</p>						
2. 事業の概要						
<p>第三次教育の情報化計画（平成30年4月改定）に基づき実施する。 計画期間は、平成30年度～35年度の6年間とする。 ・授業の双方向性を高める教育の推進[無線LAN及び学習用タブレットPC約1,715台（小学校1,060台・中学校655台程度）の整備]（平成30年度） ・情報活用能力等の育成[普通教室に加えて、特別教室の一部（小学校：理科室、中学校：理科・技術・家庭科室）に約60台の指導用タブレットPCと電子黒板を整備]（平成30年度） ・教育情報セキュリティポリシーを策定（平成30年度） ・福井県教育クラウドの校務支援システムへの参加（平成31年度～）</p>						
3. 経費						
<p>①学校ICT再構築事業 総事業費 760,293千円[平成30～36年度] （うち、債務負担行為額686,592千円 平成31～36年度）</p> <p>内訳 機器整備賃借料 610,087千円（うち、平成30年度当初予算59,314千円） 保守委託料 150,206千円（うち、平成30年度当初予算14,387千円）</p> <p>②その他 委託料9,008千円（平成30年度当初予算） 新学習指導要領に対応するための校務支援システム改修等</p>						
国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】			その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】			
	金額 (千円)	財 源 内 訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予算額	82,709					82,709
写真・イラスト等	<p>新環境に適した授業・学習ソフトウェア搭載</p> <p>教員用・生徒用タブレット（無線LAN APに接続して授業を実施）</p> <p>ICT支援員</p> <p>無線LAN</p> <p>先生</p> <p>電子黒板（無線LAN APと接続してタブレットの画像を投影）</p> <p>教室・グループ学習</p> <p>サーバ・ネットワーク機器最適化（スリム化・高速化・コストダウン） 越前市</p> <p>モバイルルータ（野外でもインターネット接続が可能）</p> <p>校外学習</p>					

平成30年度 事業概要書

教員の負担を軽減し、子どもと向き合う時間を増やす

事業名	小学校教育振興事業/中学校教育振興事業	担当課	教育振興課
会計	一般会計	費目	教育費
予算書		予 算 書	P180/P182
まちづくりの5本の柱	2. 元気な人づくり		

1. 事業の目的・効果

複雑化・多様化、そして複数化する教育課題の解決が迫られる現状において、学校の指導体制や運営体制を、新しい時代に対応できるものとする。教員の働き方改革を推進する中で学校における業務改善を行い、子どもと向き合う時間を増やし、より専門的な指導が行える体制の構築を図る。

2. 事業の概要

①学校運営支援員の配置

教員の業務負担軽減のため教員の支援員として配置し、教員が児童・生徒の指導及び教材研究等に注力できる体制を整備するもので、国庫補助事業である“多彩な人材の参画による学校の教育力向上”事業のうちの「スクール・サポート・スタッフ」の配置分が制度運用される。

②部活動指導員の配置

部活動の顧問として生徒の指導・引率が可能で、教員の多忙化解消を目的として配置する。

3. 経費

①学校運営支援員：学校数24校（小学校17校＋中学校7校）、1校当たり@800円×3h/日×2日/週×35週

- ・小学校報酬(国1/3、県1/3)：@168,000/校×17校=2,856,000円
 - ・小学校通勤手当(市単)：@2,200円×12ヶ月×17名=448,800円
 - ・中学校報酬(国1/3、県1/3)：@168,000/校×7校=1,176,000円
 - ・中学校通勤手当(市単)：@2,200円×12ヶ月×7名=184,800円
- 合計 4,666千円

②部活動指導員：中学校2校

- ・中学校報酬(国1/3、県1/3)：@1,600円×12h/週×45週/年×2校=1,728,000円
 - ・中学校通勤費(市単)：@2,200円×12ヶ月×2名=52,800円
 - ・中学校旅費(市単)：@37円/km×85km×3回×2名=18,870円
- 合計 1,800千円

国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】	学校運営支援員配置事業（国1/3、県1/3） 部活動指導員配置事業（国1/3、県1/3）	その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】			
	金額 (千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国庫支出金	県支出金	地方債	一般財源
予 算 額	6,466	1,920	1,920		2,626

写真・イラスト等

①学校運営支援員

スクール・サポート・スタッフの配置

学習プリント等の印刷などを教員に代わって行うサポートスタッフを配置し、教員の負担軽減を図ることで、教員がより児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備する。

教員業務支援

- 学習プリント等の印刷・配布準備
- 授業準備の補助
- 採点業務補助



②部活動指導員



平成30年度 事業概要書		学習環境の向上 小学校空調機（エアコン）設置工事			
		事業名	小学校施設管轄事業	担当課	教育振興課
会計	一般会計	費目	教育費	予算書	P180
まちづくりの5本の柱		2. 元気な人づくり			
1. 事業の目的・効果					
<p>夏季の小学校児童の熱中症の予防と学習意欲の向上のため、中学校での実施（平成26年度）に続き、小学校においても全校に空調機（エアコン）を設置する。</p>					
2. 事業の概要					
<p>越前市全ての小学校17校の普通教室・特別支援教室等に一齐にエアコンを設置する。平成31年夏の稼働開始を目標に、平成30・31年度継続事業として設置工事を行う。 また、空調機（エアコン）設置の他、受電設備の老朽更新・増強改修工事を行う。</p>					
3. 経費					
<p>総事業費 工事費 463,000千円（平成30・31年度継続費） 監理費 4,000千円（平成31・31年度継続費） 設計委託費 7,760千円（平成30年度当初予算） 合計 474,760千円</p> <p>平成30年度当初予算 工事費 92,600千円（総事業費の工事費の2割） 監理費 800千円（総事業費の監理費の2割） 設計委託費 7,760千円 合計 101,160千円</p>					
国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】	学校施設環境改善交付金 国が定める基礎配分額の1/3の額	その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】	地方債 国庫を除く額の75%		
	金額 (千円)	財源内訳 (千円)			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
予算額	101,160	19,537		61,200	20,423
写真・イラスト等	   <p>①室内機 ②室外機 ③キュービクル</p>				

平成30年度 事業概要書		ピカピカの運動場 味真野小学校屋内運動場等改修工事			
		事業名	小学校施設営繕事業	担当課	教育振興課
会計	一般会計	費目	教育費	予算書	P180
まちづくりの5本の柱		2. 元気な人づくり			
1. 事業の目的・効果					
味真野小学校屋内運動場は、築後42年が経過し老朽化が著しいため改修工事を行う。また、広域避難所用や学校開放としても利用できる多目的トイレを整備する。					
2. 事業の概要					
平成30年10月中旬の学習発表会・地区文化祭前の完成を目標に工事を行う。また、屋内運動場に多目的トイレ等を新たに整備する。					
味真野小学校屋内運動場の概要 建築年 昭和50年3月（42年経過） 面積 987㎡ 構造 鉄筋コンクリート、鉄骨造 耐震 有り					
3. 経費					
工事費 90,000千円					
工事内容 屋根、外壁、内装、床の改修 電気、照明設備（LED化）改修 屋内運動場内に洋式トイレ、多目的トイレを整備					
国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】		学校施設環境改善交付金 国が定める基礎配分額の1/3の額		その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】	
		地方債 国庫を除く額の75%			
金額 (千円)		財源内訳 (千円)			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他
予算額		90,000	16,746	54,900	18,354
写真・イラスト等					

平成30年度 事業概要書		思い切り走れる 大虫小学校グラウンド・トラック整備工事				
		事業名	小学校施設営繕事業		担当課	教育振興課
会計	一般会計	費目	教育費		予算書	P180
まちづくりの5本の柱		2. 元気な人づくり				
1. 事業の目的・効果						
<p>旧大虫幼稚園の園舎の解体に合わせて、幼稚園跡地を大虫小学校グラウンドと一体的に整備する。 大虫小学校の校庭の現状は、150mの変則トラックと余裕のない直走レーンであるため、200mトラックと100m直走レーンを整備して学習環境を改善する。</p>						
2. 事業の概要						
<p>幼稚園跡地と小学校グラウンドの境界にある側溝を撤去し、幼稚園跡地部分に暗渠排水を整備し、周囲に側溝を整備することでグラウンド排水を改善する。 200mトラックと100m直線レーンの整備に伴い、既存の砂場等の再配置を行う。 工事完成は、平成30年10月下旬の校内マラソン大会開催日までを目標とする。</p>						
3. 経費						
<p>工事費 44,000千円</p> <p>工事内容 工事面積 3,200㎡ グラウンド舗装、暗渠排水及び側溝整備</p>						
国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】		学校施設環境改善交付金 国が定める基礎配分額の1/3の額		其他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】		地方債 国庫を除く額の75%
		財 源 内 訳 (千円)				
		金額 (千円)	国庫支出金	県支出金	地方債	其他 一般財源
予 算 額		44,000	6,080		28,400	9,520
写真・イラスト等		  <p>左 赤枠は工事面積3,200㎡ 右 幼稚園跡地と小学校グラウンド境界の側溝 (グラウンド西側から東に向かって撮影)</p>				

平成30年度 事業概要書		タケフナイフビレッジ共同工房を観光の拠点に				
		事業名	工芸の里構想推進事業 (ナイフビレッジ共同工房観光拠点化事業)		担当課	産業政策課
会計	一般会計	費目	商工費		予算書	P152/P154
まちづくりの5本の柱		1. 元気な産業づくり				
1. 事業の目的・効果						
<p>越前打刃物の海外を中心とした受注増加や、平成35年春の北陸新幹線（仮称）南越駅開業による外国人をはじめとした交流人口の増加など、伝統的工芸品である越前打刃物を取り巻く波及効果を最大限に取り込むため、タケフナイフビレッジ協同組合が実施する共同工房の改修や増設、独立工房ゾーンの整備などを支援し、生産拡大はもとより、産業観光の拠点として交流人口の増加や独立開業の支援などを推進する。</p>						
2. 事業の概要						
<p>【独立工房ゾーンの改修】（平成30年度） ・タケフナイフビレッジと市で独立工房ゾーンを整備し、若手職人の独立開業を支援するとともに、観光交流機能の強化を図る。</p> <p>【共同工房の改修】（平成30年度） ・タケフナイフビレッジ共同工房の改修を支援する。</p> <p>【共同工房の増設】（平成31年度） ・独立工房ゾーンの一角に、タケフナイフビレッジ共同工房の増設を支援する。</p>						
3. 経費						
<p>タケフナイフビレッジ共同工房観光拠点化事業工事費 42,000千円 （多目的広場造成工事費、市分21,000千円、ナイフビレッジ受託工事分21,000千円） タケフナイフビレッジ共同工房観光拠点化事業補助金 38,000千円 （事業費－ナイフビレッジ造成工事費21,000千円、現工房改修工事費33,000千円、実施設計費3,000千円、補助率2/3）</p> <p>※地方創生推進交付金の交付を受けて行う</p>						
国庫・県支出金の内訳 <small>【補助基本額・補助率等を明記】</small>		地方創生推進交付金【補助率1/2】		其他特定財源の内訳 <small>【支出先・負担率等を明記】</small>		受託工事（タケフナイフビレッジ協同組合）21,000千円 社会基盤整備基金繰入金10,000千円
金額 (千円)		財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	其他	一般財源
予算額		80,000	12,000		31,000	37,000
写真・イラスト等		 <p>タケフナイフビレッジ（既設工房）</p>		 <p>若手職人が活躍するナイフビレッジ</p>		

平成30年度 事業概要書		タンス町通りから中心市街地の活性化を推進				
		事業名	工芸の里構想推進事業 (越前指物組合事務所改修補助金等)		担当課	産業政策課
会計	一般会計	費目	商工費		予算書	P152
まちづくりの5本の柱		1. 元気な産業づくり				
1. 事業の目的・効果						
<p>市工芸の里構想の越前筆筒（指物）の振興策に基づき、タンス町通りを越前筆筒（指物）の展示エリアとして、その歴史・文化を活かしたまちづくりを進めるため、タンス町通りに面する指物組合事務所前面の景観・しつらえを見直すことで、ショールームとしてのリニューアルを図り、タンス町通りの核となる施設としての整備を支援する。またタンス町通りの店舗等の改修を支援することで、展示エリアとしての機能を強化するとともに、四町界隈の寺社を活用し、更なる交流人口の増加を図り、隣接する「だるまちゃん広場」や「ちひろの生まれた家」記念館との連携を推進し、中心市街地の活性化を目指す。</p>						
2. 事業の概要						
<p>【越前指物組合事務所の改修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タンス町通りに面する3階建の越前指物組合事務所の改修を支援 1階：工房、2階：事務所兼展示室、3階：資料室兼民泊施設 <p>【タンス町通りに面する店舗等の改修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タンス町通りから製造工程が見えるよう、タンス店舗（作業場）の改修を支援 						
3. 経費						
<p>伝統産業支援事業補助金39,435千円のうち</p> <p>指物組合事務所改修補助金 23,435千円（事業費35,153千円、県1/2、市1/6） タンス店改修補助金 3,000千円（補助対象経費（上限）3,000千円×1/2、2件分）</p>						
国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】		新ふるさと創造推進事業【補助率1/2】		その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】		
	金額 (千円)	財 源 内 訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予 算 額	26,435		20,500			5,935
写真・イラスト等		 <p>※イメージ（タンス店の“見える化”）</p>  <p>タンス町通りのにぎわい</p>				

平成30年度 事業概要書		伝統工芸の作り手との交流の場作りを支援				
		事業名	越前ネクストクラフト事業 (クラフトフェス開催負担金)		担当課	産業政策課
会計	一般会計	費目	商工費		予算書	P152
まちづくりの5本の柱		1. 元気な産業づくり				
1. 事業の目的・効果						
<p>市内の伝統工芸の作り手たちが連携して企画・運営を行い、物販・体験・イベント等を通じてユーザー等と交流するクラフトフェスの開催を支援する。</p> <p>これにより、ユーザーの購買意欲の向上や裾野の拡大、産地のPR効果やブランド価値の向上、産地の次世代の育成などを図り、産業振興や地域活性化に繋げる。</p>						
2. 事業の概要						
<p>【イベント方向性】物販、体験、飲食、イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主ターゲット 20～40代（ファミリー層など、クラフトに関心のある層を呼び込み、武生中央公園との双方向交流を図る） ・会場 AW-1スポーツアリーナ ・日程 8月26日（日）（菊人形イベントと同時開催） ・出展者 市内3産地、丹南2産地、市内外のその他業種、飲食出展者等（約40社程度） <p>【運営体制】3産地の若手代表と市で実行委員会を組織（実行委員会から企画・運営・事務局業務を委託）</p>						
3. 経費						
クラフトフェス開催負担金 5,000千円（実行委員会への開催負担金）						
国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】		其他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】				
	金額 (千円)	財 源 内 訳 (千円)				一般財源
		国庫支出金	県支出金	地方債	其他	
予算額	5,000					5,000
写真・イラスト等		 <p>※イメージ（三条クラフトフェア）</p>				

平成30年度 事業概要書		和紙文化の発信拠点としての役割を担う				
		事業名	紙の文化博物館展示事業		担当課	産業政策課
会計	一般会計	費目	商工費		予算書	P154
まちづくりの5本の柱		1. 元氣な産業づくり				
1. 事業の目的・効果						
<p>昨秋にフルオープンした紙の文化博物館は、5月に岡太神社・大瀧神社1300年大祭が開かれることから、特別展や常設展において「岡太神社・大瀧神社1300年大祭記念事業」の冠を付け、和紙文化の発信拠点、産業観光の起点として、年間を通して質の高い展示を行う。</p> <p>「越前装飾料紙」展の開催期間中には「越前装飾料紙シンポジウム」が行われ、県内外から和紙関係者が越前市に訪れるため、越前和紙の伝統と新たな試みをアピールする。</p>						
2. 事業の概要						
<p>【特別展】（年間3回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大瀧神社の至宝」4/28～5/31 大瀧神社に伝来した歴史資料・彫刻などを展示（主要な展示品として、木造虚空蔵菩薩坐像、大瀧神社文書などを予定） ・「山口マオ原画展」9/5～10/8 イラストレーター・絵本作家として有名な山口マオ氏の原画を展示（子どもに人気の絵本「わにわに」シリーズの原画など） ・「越前装飾料紙」10/19～11/26（「越前装飾料紙シンポジウム」協賛事業として位置づけ） 墨流し、打雲、飛雲などの装飾料紙の古典的な名品と、現在の職人達が漉いた紙を並べて展示 <p>【常設展】 特別展が開催されない時期に行う（「和紙の作り方」「横山大観と越前和紙」などを予定）</p>						
3. 経費						
<p>紙の文化博物館事業費 10,076千円 《内訳》 需用費 1,500千円（展覧会消耗品、ポスター・チラシ印刷など需用費） 役務費 3,706千円（展示借用品の輸送ほか） 委託料 3,300千円（収蔵資料の燻蒸作業ほか） その他 1,570千円（旅費、使用料ほか）</p>						
国庫・県支出金の内訳 <small>【補助基本額・補助率等を明記】</small>		その他特定財源の内訳 <small>【支出先・負担率等を明記】</small>				
	金額 (千円)	財 源 内 訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予 算 額	10,076					10,076
写真・イラスト等	 <p>特別展での学芸員による解説（2階展示室）</p>  <p>和紙にふれあう子どもたち（1階体験コーナー）</p>					

平成30年度 事業概要書

ちひろ生誕100年をみんなで祝いましょう

事業名	観光推進事業	担当課	商業・観光振興課
会計	一般会計	費目	商工費
まちづくりの5本の柱			1. 元気な産業づくり
		予算書	P158

1. 事業の目的・効果

日本を代表する絵本画家・いわさきちひろさんの生誕100年を迎えるに当たり、ちひろが本市生まれということを広く周知する取り組みを行う。オリジナルグッズの開発や「ちひろの生まれた家」記念館の紹介映像を製作し、100周年の市民の機運醸成を図るとともに、市民参加で誕生日をお祝いするイベントを開催する。同時に、本市出身の絵本作家かことし氏をPRし、絵本の世界と作者の生誕地・越前市を結び付け、郷土の誇りと情操豊かで夢ある市民の暮らしに繋げていく。

2. 事業の概要

- ・ 「ちひろの生まれた家」記念館オリジナルグッズの開発
越前市ならではのオリジナルグッズの開発
- ・ 「ちひろの生まれた家」記念館の施設紹介映像の製作、年4回の企画展の実施
- ・ ちひろさんのタペストリー…いわさきちひろ生誕100年をPR・周知するメモリアル・タペストリー
かこ氏のタペストリー…だるまちゃん広場をモチーフにしたタペストリー
タペストリー掲示先…市内目抜き通り(各商店街)、市内ショッピングセンター、公共交通主要駅、たけふ菊人形会場、市内の国体開催会場など、計 約1,000枚
掲示期間…ゴールデンウィークから12月末の8カ月
- ・ 誕生日お祝いイベント
テ-マ…100のキャンドルナイト
内 容…市内幼保園児に参加を呼びかけ、子どもたちと100本のろうソクで祝う心温まる誕生日会
誕生を祝う唄の合唱や多目的施設での絵本の朗読など
開 催 日…平成30年12月15日(土)
開催場所…武生中央公園「はぐもぐ」
- ・ 「ちひろの生まれた家」記念館周辺の看板の整備
JR武生駅、福武線越前武生駅、武生公会堂記念館、武生中央公園などからの誘導を図るため、看板を整備
- ・ 事業費 観光推進業務委託料20,013千円のうち13,400千円(ちひろ関連事業費) ※ クラウドファンディング事業

3. 経費

観光推進業務委託料 13,400千円

①施設紹介映像製作費	1,920千円	(施設紹介映像製作、絵本ライブラリー)
②生誕100周年事業	2,623千円	(オリジナルグッズの開発、タペストリー掲示、お誕生日お祝いイベント)
③看板等整備費	1,480千円	(周辺看板整備)
④企画展示費	2,084千円	(年4回企画展)
⑤記念館運営費	5,293千円	

国庫・県支出金の内訳 <small>【補助基本額・補助率等を明記】</small>	国 地方創生推進交付金 6,700千円(補助率1/2)	その他特定財源の内訳 <small>【支出先・負担率等を明記】</small>	まちづくり基金(クラウドファンディング) 2,500千円			
	金額(千円)	財 源 内 訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予 算 額	13,400	6,700			2,500	4,200

写真・イラスト等



誕生日ケーキを囲んで、参加者でお祝い



ちひろの絵本の朗読会

平成30年度 事業概要書		いわさきちひろ生誕100年記念特別展																																																												
		事業名	公会堂記念館展示整備事業 (いわさきちひろ生誕100年記念特別展)		担当課	文化課																																																								
会計	一般会計	費目	教育費		予算書	P198																																																								
まちづくりの5本の柱		2. 元気な人づくり																																																												
1. 事業の目的・効果																																																														
<ul style="list-style-type: none"> ・市とちひろ美術館の共同主催で、武生公会堂記念館にて、ちひろ生誕100年を記念し、「いわさきちひろ生誕100年記念特別展」を開催する。 ・ゆかりの三地域（本市、信州・安曇野、東京・練馬）の連携を深め、ちひろの足跡とその絵の魅力について語りついでいく。 																																																														
2. 事業の概要																																																														
<p>いわさきちひろ生誕100年記念特別展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容：ちひろ美術館の展示会等と連携するとともに、ちひろの足跡とその絵の魅力について紹介する。作品は、展示替えを行い、約100点を展示予定。 ・会期：平成30年9月21日～12月24日 展示替えを行い、ロングランで開催。 ・会場：武生公会堂記念館 ・主催：越前市、ちひろ美術館 共同主催 ・連携：展示期間中、市内各施設の関連イベントと連携し『ちひろ生誕の地』をアピールしていく。 																																																														
3. 経費																																																														
<table border="0"> <tr> <td>公会堂記念館展示整備事業</td> <td>16,527千円のうち</td> <td>5,712千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>謝礼</td> <td>500千円</td> <td></td> <td>看視等委託料</td> <td>529千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td>505千円</td> <td></td> <td>調査等委託料</td> <td>46千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通旅費</td> <td>116千円</td> <td></td> <td>著作物転載使用料</td> <td>1,500千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>320千円</td> <td></td> <td>機器借上料</td> <td>135千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>941千円</td> <td></td> <td>庁用備品費</td> <td>30千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>通信運搬費</td> <td>1,020千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保険料</td> <td>70千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							公会堂記念館展示整備事業	16,527千円のうち	5,712千円					謝礼	500千円		看視等委託料	529千円			費用弁償	505千円		調査等委託料	46千円			普通旅費	116千円		著作物転載使用料	1,500千円			消耗品費	320千円		機器借上料	135千円			印刷製本費	941千円		庁用備品費	30千円			通信運搬費	1,020千円						保険料	70千円					
公会堂記念館展示整備事業	16,527千円のうち	5,712千円																																																												
謝礼	500千円		看視等委託料	529千円																																																										
費用弁償	505千円		調査等委託料	46千円																																																										
普通旅費	116千円		著作物転載使用料	1,500千円																																																										
消耗品費	320千円		機器借上料	135千円																																																										
印刷製本費	941千円		庁用備品費	30千円																																																										
通信運搬費	1,020千円																																																													
保険料	70千円																																																													
国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】		地方創生推進交付金 2,500千円（補助率1/2）		その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】		入館料 1,000千円																																																								
		財源内訳（千円）																																																												
		金額（千円）																																																												
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																							
予算額	5,712	2,500				1,000	2,212																																																							
写真・イラスト等		<p>平成29年度いわさきちひろ生誕100年プレ企画展の様子</p>  <p>ちひろ美術館 生誕100年チラシ</p> 																																																												

平成30年度 事業概要書		防災行政無線のデジタル化を図ります				
		事業名	防災行政無線管理事業 (防災行政無線のデジタル化)		担当課	防災安全課
会計	一般会計	費目	総務費		予算書	P102
まちづくりの5本の柱		4. 安全で安心なまちづくり				
1. 事業の目的・効果						
<p>国の指導に基づく防災行政無線のデジタル化を進めるため、平成31年度の本庁舎完成に合わせ、現在のアナログ無線からデジタル無線による運用に移行し、防災体制の充実・強化を図る。</p>						
2. 事業の概要						
<p>平成30年度に防災行政無線のデジタル化に向けた工事契約を行い、平成32年3月末までにデジタル無線機器への更新を完了し、供用開始する。そのため、当該工事を平成30年度から平成31年度までの継続費とする。</p> <p><スケジュール> H30. 6月～ 工事発注準備 (業者選定・入札手続き) 10月 工事着工 H32. 3月 工事完了</p> <p><更新機器> 無線操作卓 (親局) 無線子局 (40局) 再送信子局 (7局) 戸別受信機 (220台) 他</p>						
3. 経費						
<p>施設整備工事費 7,000千円 【継続事業】平成30年度～平成31年度 【事業費】443,000千円 (H30: 7,000千円、H31: 436,000千円)</p>						
国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】		その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】			緊急防災・減災事業債 (充当率100%、交付税措置70%)	
金額 (千円)		財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予算額		7,000		7,000		
<p>国の指導により、現在使用しているアナログ防災行政無線は平成34年12月以降使用できなくなるため、本庁舎の完成に合わせ防災行政無線のデジタル化を実施する。</p> <p>○防災行政無線デジタル化のメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> 電波伝搬距離が長いことから、現在、村国山山頂に設置している中継局が不要になる。 親局と子局の間で、電話のように送信・受信を行えるようになる。 						
写真・イラスト等		無線操作卓イメージ		無線子局イメージ		
				 		